

# 加茂歴史の小径

7月22日の越後ジャーナルに掲載されました

## 青海神社噴水付近と大昌寺前に

### 新たに2基、史跡モニュメント「加茂歴史の小径」

「亀の噴水」



新たに二基設置した。これにより、市内に点在するモニュメントは計八基となった。

同モニュメントは、同商工会議所が取り組む歴史を生かしたまちづくりの一環。高さ百十五センチ、上部分を斜め上に向かってカットしたオオルガン型の新設個所は、青海神社境内にある噴水付近と、同市松坂町地内の大昌寺前。

加茂商工会議所（太田明会頭）はこのほど、加茂市内に史跡モニュメント「加茂歴史の小径（こみち）」

ようなデザインで、写真や説明文を刻んだステンレス版によって、設置個所にまつわるエピソードや歴史を

紹介している。これまで設置した六基では、同市若宮町一の榊マスカガミ前で「三國街道山通り」、上町コミュニティセンター前で「皆川邸跡」、同市仲町の雪椿酒造（榊前）で「御高札小路」、同市穀町の榊屋前で「三國街道山通り」、青海神社境内の一の鳥居付近で「古川茂陵」、青海神社境内の伊勢両宮付近で「青海神社」をテーマにそれぞれの歴史を周知している。



「大昌寺」

にあるモニュメントのテーマは、「亀の噴水」。同噴水は、皆川家の子孫である幾美（きみ）と登与（とよ）が連名で明治四十四年五月に同神社に寄進したもので、噴水の亀は同神社の御祭神である椎根津彦命（しねつひこのみこと）を乗せ、神武天皇東征の際、大

加茂商議所

和に導いたと伝えられている。大昌寺

当商工会議所では、加茂の歴史を多くの方に知っていただこうと史跡モニュメント「加茂歴史の小径（こみち）」を市内に8カ所設置しています。市民の皆様をはじめ、市外、県外から観光に訪れた方々に加茂のまち歩きを楽しんでいただきたく加茂の奥深い歴史の魅力を紹介しています。ぜひ、加茂の歴史に触れながらまち並みを歩いてみませんか。